



- めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

秋山っ子

- 学校の教育目標 豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校 学校だより NO. 10 令和4年1月25日発行

3学期スタート

1月6日は、3学期始業の日でした。児童6名、職員8名全員がそろって始業の日を迎えることができました。1校時に始業式を行いました。始業式では、はじめに3年生の男児が代表で3学期にがんばることを発表しました。原稿を見ずに堂々と発表しました。発表の後には、校長の話でした。3学期がんばってほしいこととして、1・2学期同様、

- あいさつ・返事（特に返事を「相手の顔を見て、短く、強く」）
 - 命を大切に（命を守ることにについては、100点満点を目指す）
 - チャレンジすること（学習発表会に向けてがんばろう）
- の3つことについて話をしました。

1年のしめくくりである3学期も職員が一丸となって子どもたちの指導にあたっていきます。皆様方には、いろいろな面でお世話になることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願いします。



リモートによる交流学習

12月20日の4校時に本校の1年生が北方小の1年生とリモートによる交流学習を行いました。1年生がリモートによる交流学習を行うのは、前回の本城小との交流に続いて2回目です。今回は、道徳の授業を行いました。北方小の1年担任の先生が全体を指導し、本校の1年担任は、本校の児童の指導を行いました。話合いの場面では、勇気を振り絞って発表しました。意見の交流の時間には、北方小の子どもたちがタブレットの前に並んで順番に自分の考えを本校の児童に教えてくれました。北方小の1年生とのリモートによる交流学習は初めてでした。今日の授業を生かして、よりよい交流ができるようにしていきたいと考えています。

今、秋山小では、「できる学校（先生）とできること」をキャッチフレーズとしてリモートによる交流学習にも取り組んでいます。12月17日には、リモートによる学習の前段階として大平小へ本校の3年生が直接出向き、道徳の授業を行いました。授業実施後の本校3年生の感想は下のとおりです。

- 劇ができて楽しかった。
- 自分の考えがいっぱい言えてよかった。
- 友達の考えをたくさん聞くことができてよかった。
- 大平小の先生の教え方が分かりやすかった。
- 大平小の友達と一緒に勉強ができてよかった。

3学期は福島小、北方小に出向いての直接交流も予定しています。交流をとおして、いろいろな刺激を受け、学級での学習に生かしてほしいです。



餅つき会

1月17日の午後に餅つき会を行いました。前日から保護者の皆さんに協力していただき行いました。風がとても強い日でしたので、児童玄関で行いました。杵と臼を使ってついた餅は、最高においしかったです。餅には、その年の豊作や幸せを司る年神様の魂が宿ると考えられており、お正月にお餅を食べることには、そこに宿った年神様の魂を頂戴し、新年の魂を授けていただくという意味があるそうです。秋山小の子どもたち、職員は、最強のパワーフードであるお餅を食べて、今年も元気にがんばります。



きんかん収穫体験

1月12日（水）の2・3校時に北方小の1・5年生と一緒に北方の古屋さんのビニルハウスできんかん収穫体験を行いました。完熟きんかんは、くしま学カルタにも入っている串間市の名産品です。古屋さんは完熟きんかん「たまたま」の生みの親といわれる方です。

はじめに古屋さんからきんかん「たまたま」についての話を聞いたあと、きんかんの収穫の仕方やおいしいきんかんの選び方を教えていただきました。色がよく、大きいきんかんがよいということで慎重に選んで収穫していました。1個はその場で味見をしました。甘くてとてもおいしかったです。

この収穫体験は、北方小は1・5年のみが体験しますが、本校の児童は、毎年体験させていただいています。きんかんの初競り（解禁日）が体験の日ということで、一足先においしいきんかんをいただくことができました。今年もたくさんの方に串間市、そして宮崎県の名産である完熟きんかん「たまたま」をぜひ、食べていただきたいです。なお、当日は、新聞社やテレビ局の方が取材に来ており、体験の様子は宮日新聞、MRT、UMK、NHKで紹介されました。



串間市青少年の声を聞く会

1月15日（土）に串間市文化会館で串間市青少年の声を聞く会が行われました。本校は最上級生である5年男児が代表で発表しました。演題は、「牛のお世話を通して考えたこと」でした。牛の世話を通して考えたこととして下のような大きく2つのことを発表しました。

- 牛一頭一頭の尊い命の大切さを思いながら愛情込めてお世話をがんばりたい。
- 口蹄疫のような悲しい出来事が起こらないように予防して、いい牛を育てていきたい。

5年生で発表したのは、本児のみでしたが、気後れすることなく堂々と発表することができました。

